

<h1>そだて</h1> <p>第279号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/</p>
---------------------------	---------------------------	--

「10年以上前の書籍」

青少年育成センター所長 菅原 誠廣

自宅のほんの些細なスペースに積んであった書籍類を分類して、リストを作成することを時々しています。その時々を思い出しながら作業していると気分もほぐれます。家族も時々興味を示し、夕食時の話題づくりに小さな貢献をしています。

さて、その中に「即レス症候群の子どもたち（加納寛子著）2009年12月」という書籍を見つけました。10年以上前に書かれたものの冒頭部分が、次のようです。

子どもたちの間で、防水ケータイが流行っています。なぜでしょうか？ 大人ならば、炊事洗濯の合間に電話が鳴ったときに、濡れた手で利用できるというメリットはあります。今の子どもたちは、昔の子どもたちより炊事洗濯を手伝うようになったのでしょうか？ そのようなことはありません。入浴中にもケータイメールを使いたいがゆえに、防水ケータイが流行るのです。もはや、身体の一部のように、片時も手放せなくなっているからこそ、小学生のときからの適切な指導が必要になるのです。

この部分を読み返して、さらにその10年以上前のことに思いを馳せることになりました。休日に用事があり、自宅近くのバス停から40分ほどの乗車をしました。バス奥側の座席に高校生が乗っていて、私が中学校で教えた生徒でした。あいさつをして隣に座り、お互いに少しだけ近況を話しました。その後、生徒が手にしていた携帯電話のことに話題が移り、高校入学と同時に保護者から買ってもらったと言ってとてもうれしそうでした。その後、ずっと握りしめているので、どうしたのかと聞いたら、着信があったらすぐ出られる、返信ができるようにしているのだとのこと。そして、休日でも着信がないととても不安になると言っていました。

すでに20年以上前には、私の身のまわりでは、携帯電話による生徒の心の持ち様が大きく変化していたのです。この間に機器の呼び名も「携帯電話」「ケータイ」「スマートフォン」「スマホ」と変化しました。この機器は、自分だけで使っている時も大きな影響を受けますが、複数の人間関係が存在する時にはさらに大きな影響を受けることになります。

スマートフォンは、その使い方ですべて生活が便利になります。しかし、誤った使い方をすれば自分も他人も傷付ける凶器になります。購入時に、親子で研究し、相談して、納得して使用を始める必要があると考えます。具体的に、使用時間や使用内容、使用場所、通信料金、アプリの課金等の約束事を決めておく必要があります。さらに、青少年だけに使い方を押しつけるのではなく、世の大人はその使用について、常に情報を更新して青少年の正しい手本になる努力が必要になります。

ポケットに入るスマートフォンは、見方を変えれば高性能のコンピュータとも言えます。一昔前のコンピュータは、使用するには分厚いマニュアルを読む必要がありました。エラーが頻発して、思い通りに動作しないことも多くありました。しかし、今の手に載る高性能コンピュータは、様々な技術の発達で、かなり容易に思い通りに動作させることができてしまいます。時に意図しない動作も。

私たちは、この機器について、未来を生きる青少年のために何ができるか考え直す必要があります。特に、進歩の激しい情報機器は、突然それまで考えもしなかった使い方が出てきます。青少年に学びの重要性を伝えていますが、私たちも同じように学び続ける必要があります。その後ろ姿が青少年に伝わり、より良い社会を築いていけると考えています。

令和元年度の活動報告

今年度の活動を報告します。皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

□ 街頭補導

11月21日までに補導委員の方々に巡回していただいた回数は46回、延べ132人になりました。補導委員の方々には巡回中、486人の青少年に「愛の一声」をかけていただきました。ありがとうございました。

□ 環境浄化活動

7月4日に、育成センターと生涯学習課合同で、市内の商業施設やJR小千谷駅周辺信濃川旭橋周辺を中心に巡回しました。特に、地下道や駐輪場はゴミもなく、きれいに管理されていて気持ち良く利用できる環境でした。

□ 合同パトロール

8月25日、おぢやまつり最終日に小千谷警察署、少年警察ボランティア連絡会、青少年補導委員、青少年育成センター所員によるパトロールを行いました。警察署員と少年警察ボランティアを班長として、5班に分かれて、おまつり広場（本町）周辺と少し離れた裏通りを巡回しました。華やいだ万灯パレードの中、子ども達はルールやマナーを守り、まつりを楽しんでいました。

□ 広報活動

機関誌「そだて」は色々な分野で活躍されている方からメッセージをいただき、充実した内容で6回発行しました。「小千谷図書館」「小千谷市役所」「楽集館」に置かせていただいていますし、小千谷市のHPにも公開されています。小千谷市HPのトップページ「子育て・教育」欄から、青少年育成センター「そだて」にアクセスして是非ご覧ください。

□ 相談活動

今年度2月末までの相談件数は、延べ49件（電話44件、メール5件）ありました。電話相談では、継続相談があり、心の支えになっているようです。また、無言電話が64件ありました。相談に結びついてくれると良いと思います。

中学3年生に相談カードを配付しました。卒業しても、青少年育成センターをよろしくお願いします。

◆保護者からの相談も受け付けます。また、お子さんへの悩みや、不安をお持ちの方がいらっしゃいましたら「青少年育成センター」の相談窓口をご紹介いただくとありがたいです。

青少年育成センター相談電話
0258-82-6771
e-mail s-center@city.ojiya.niigata.jp



相談時間 13:00～16:00（月～金） 祝日除く